

セナファルト SD

鋼床版用ポリマー改質アスファルト

現在、ポーラスアスファルト舗装は、高速道路や市街地において雨天時の走行安全性や吸音特性による低騒音舗装として、広く利用されています。また、その利用も多様化しており、橋面舗装にも使用されてきております。その中で、鋼床版上における舗装体は、本州四国連絡橋での研究成果により、高ひずみに対応する混合物でなくてはなりません。

セナファルトSDは、その優れたバインダ特性により、高ひずみに耐えるポーラスアスファルト混合物を提供することが可能な鋼床版用ポリマー改質アスファルトです。



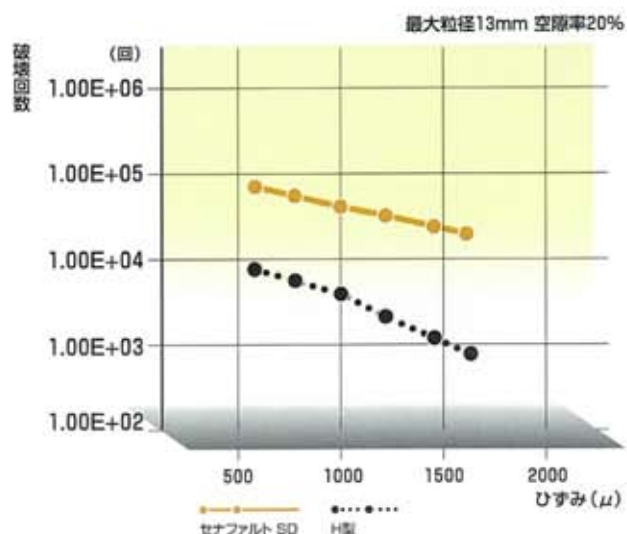
特長

- バインダ単体のたわみ性能が優れている。
- 混合物の曲げ試験におけるひずみが大きい。
- 4℃伸度、フラス脆化点に代表される低温時のバインダ性状が優れている。
- 一般のポリマー改質アスファルトH型と同等の作業性を有している。



▲ バインダの曲げ試験

繰り返し曲げ試験



曲げ試験

